



## 2025年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社ケイ・ウノ 上場取引所 名  
コード番号 259A URL <https://www.k-uno.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 青木 興一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CAO兼執行役員 (氏名) 渡沼 和則 TEL 080 (7638) 1240  
定時株主総会開催予定日 2025年12月26日 配当支払開始予定日 —  
有価証券報告書提出予定日 2025年12月26日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年9月期の連結業績（2024年10月1日～2025年9月30日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	7,004	5.2	102	△60.8	75	△67.7	22	△86.3
2024年9月期	6,656	7.9	262	48.2	234	39.9	166	107.0

(注) 包括利益 2025年9月期 25百万円 (△83.6%) 2024年9月期 155百万円 (97.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年9月期	21.87	21.13	2.0	1.7	1.5
2024年9月期	176.13	—	17.6	5.4	3.9

(参考) 持分法投資損益 2025年9月期 △22百万円 2024年9月期 △30百万円

- (注) 1. 当社は、2024年6月14日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。
2. 2024年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
3. 当社株式は2024年10月8日付で名古屋証券取引所ネクスト市場に上場したため、2025年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から2025年9月期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	4,542	1,269	28.0	1,203.21
2024年9月期	4,404	1,020	23.2	1,082.15

(参考) 自己資本 2025年9月期 1,269百万円 2024年9月期 1,020百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年9月期	△44	△139	191	1,021
2024年9月期	351	△73	△236	1,015

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）  
（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	3,591	0.9	3	△96.6	△8	－	△28	－	△26.81
通期	7,477	6.8	120	17.6	104	37.8	74	228.7	71.03

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期	1,055,200株	2024年9月期	943,200株
② 期末自己株式数	2025年9月期	－株	2024年9月期	－株
③ 期中平均株式数	2025年9月期	1,042,772株	2024年9月期	943,200株

（注）当社は、2024年6月14日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、2025年11月14日（金）に当社ウェブサイトおよびTDnetに掲載する予定であります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等の注記) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、少子高齢化の進行に伴う生産年齢人口の減少、原材料・エネルギー価格の高騰や円安を背景とした物価上昇などの影響を受けた一方で、企業の積極的な賃上げによる所得環境の改善が進み、個人消費に持ち直しの動きが見られました。さらに、物品購入や飲食を中心としたインバウンド需要の拡大も景気を下支えし、全体では緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や中国経済の先行き懸念、米国の通商政策をきっかけとした世界経済の減速など、景気の下振れリスクも存在しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

宝飾品業界におきましても、富裕層を中心とした高額品の販売が堅調に推移した一方で、消費者の根強い節約志向から、日常使いの宝飾品の販売は引き続き軟調に推移いたしました。また、賃金の上昇に加え、長期的に上昇傾向にあった金価格に続き、2025年6月にはプラチナ価格が急騰するなどのコスト増加が影響し、宝飾品業界全体として厳しい事業環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、「オーダーメイドでお客様に特別な感動と喜びを贈り続ける」というパーパスを掲げ、顧客満足度のさらなる向上を目指し、質の高いサービスとものづくりの強化に取り組んでまいりました。

当社におきましては、『手軽なオーダーメイド』の継続的な訴求に加え、2025年1月に立川店を新規オープンいたしました。また下半期にはWEBマーケティング施策を強化し、新規顧客の獲得に注力するとともに、顧客のニーズや嗜好に合わせたきめ細やかな対応でのリピート顧客の拡大、消費者のニーズに合わせた幅広い価格帯の新作開発、新作発売に合わせたフェアの実施等が奏功し、売上高は前年同期を上回りました。加えて、当連結会計年度より開始した中国本土へのグローバル展開も順調に推移いたしました。

一方で、地金価格の急騰による原材料費の上昇、働きやすさ向上を目的とした人事施策に伴う人件費の増加、広告宣伝費の重点的投下などにより経費が増加し、増収減益となりました。

子会社である株式会社ユートレジャーにおきましては、顧客ニーズを的確に捉えたマーケティング戦略の実施によりブライダルジュエリーの販売を強化し、多くのお客様から支持を得ることができました。また、推し活ニーズに合わせた商品の拡充として、VTuberや話題作のアニメ・漫画・ゲームなどのライセンスをいち早く取り入れた新作商品を展開するとともに、既存ライセンス商品のラインナップの拡充にも努めました。さらに、貴金属製フィギュア、コイン、アクリルスタンドなどジュエリー以外の分野にも積極的な商品展開を行い、特に地金相場の高騰も相まって、純金製や18金製商品が高い人気を集めました。

タイの子会社であるU-International Factory Co., Ltd.におきましては、当社グループ内における受注量増加に対応するため、製造用機械の設備投資に加えて職人の増員・教育を実施したことで、生産量の増加と製造効率の向上を実現いたしました。また、今後の受注量増加にも耐えうる体制構築として、今まで以上に高い水準での労働環境の整備を進めました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高7,004,176千円(前期比5.2%増)、営業利益102,807千円(前期比60.8%減)、経常利益75,584千円(前期比67.7%減)となりました。この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は22,803千円(前期比86.3%減)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における資産合計は4,542,097千円となり、前連結会計年度末に比べ137,909千円の増加となりました。これは主に、仕掛品が増加したこと等によるものであります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は3,272,465千円となり、前連結会計年度末に比べ111,038千円の減少となりました。これは主に、賞与引当金が増加した一方で、未払法人税等及び長期借入金が減少したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は1,269,632千円となり、前連結会計年度末に比べ248,948千円の増加となりました。これは主に、新株の発行及び利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5,707千円増加し、1,021,288千円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は44,055千円(前年同期は351,392千円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益62,339千円及び減価償却費88,749千円を計上した一方で、棚卸資産の増加額94,393千円及び売上債権の増加額31,393千円を計上したことによるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は139,924千円(前年同期は73,477千円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出92,340千円及び無形固定資産の取得による支出41,875千円を計上したことによるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は191,983千円(前年同期は236,540千円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出324,525千円を計上した一方で、長期借入れによる収入300,000千円及び株式の発行による収入213,440千円を計上したことによるものです。

## (4) 今後の見通し

2026年9月期におきましては、米国をはじめとする各国の通商政策の動向に加え、原材料価格の高止まりや、円安の進行による物価の上昇など、依然として先行きが不透明な経済環境が続くことが予想されます。

このような事業環境のもと当社グループは、国内での新規出店や店舗移転の実施、マーケティング施策による新規顧客の獲得やリピート施策の強化によるファン拡大を図るとともに、ライセンス商品の積極的な展開を継続することで、国内売上高の伸長に努めるとともに、海外での新規出店や既存販路の強化による売上高の増加も見込んでおります。加えて、経費面におきましては、原材料価格の高止まりによる売上原価の増加が見込まれる中でも国内外の両工場において製造効率の向上を図るほか、グループ全体での経費削減を行うことで、利益の確保に努めてまいります。

以上により、2026年9月期の連結通期業績見通しにつきましては、売上高7,477,598千円（前期比6.8%増）、営業利益120,888千円（前期比17.6%増）、経常利益104,133千円（前期比37.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益74,950千円（前期比228.7%増）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,015,581	1,021,288
売掛金	405,922	438,958
商品及び製品	768,045	763,709
仕掛品	246,463	326,846
原材料及び貯蔵品	685,142	706,539
その他	146,257	145,532
流動資産合計	3,267,412	3,402,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	405,820	380,802
機械装置及び運搬具（純額）	46,250	47,562
工具、器具及び備品（純額）	37,506	35,127
土地	43,000	43,000
建設仮勘定	78	24,215
有形固定資産合計	532,655	530,707
無形固定資産		
ソフトウェア	59,329	53,779
その他	11,620	30,941
無形固定資産合計	70,950	84,720
投資その他の資産		
関係会社株式	98,978	85,028
差入保証金	338,406	345,097
繰延税金資産	82,866	85,427
その他	12,917	8,239
投資その他の資産合計	533,169	523,792
固定資産合計	1,136,775	1,139,221
資産合計	4,404,187	4,542,097

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	78,177	84,927
短期借入金	440,000	440,000
1年内返済予定の長期借入金	311,189	325,272
未払金	208,591	172,207
未払費用	211,951	221,085
未払法人税等	66,166	25,755
契約負債	846,821	833,126
賞与引当金	133,651	143,850
株主優待引当金	—	6,000
その他	73,384	47,351
流動負債合計	2,369,932	2,299,577
固定負債		
長期借入金	728,450	689,842
退職給付に係る負債	3,623	5,745
資産除去債務	275,720	277,278
その他	5,776	21
固定負債合計	1,013,571	972,887
負債合計	3,383,504	3,272,465
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,000	55,040
資本剰余金	152,300	350,780
利益剰余金	824,210	847,014
株主資本合計	1,006,510	1,252,834
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	14,173	16,797
その他の包括利益累計額合計	14,173	16,797
純資産合計	1,020,683	1,269,632
負債純資産合計	4,404,187	4,542,097



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
売上高	6,656,533	7,004,176
売上原価	2,757,420	2,945,611
売上総利益	3,899,112	4,058,565
販売費及び一般管理費	3,636,700	3,955,757
営業利益	262,412	102,807
営業外収益		
受取利息及び配当金	211	1,646
為替差益	13,508	10,377
その他	1,714	1,134
営業外収益合計	15,434	13,158
営業外費用		
支払利息	7,374	11,466
持分法による投資損失	30,842	22,099
支払手数料	—	6,314
その他	5,395	502
営業外費用合計	43,611	40,381
経常利益	234,235	75,584
特別損失		
減損損失	—	13,245
特別損失合計	—	13,245
税金等調整前当期純利益	234,235	62,339
法人税、住民税及び事業税	97,530	42,096
法人税等調整額	△29,425	△2,560
法人税等合計	68,105	39,535
当期純利益	166,130	22,803
親会社株主に帰属する当期純利益	166,130	22,803

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
当期純利益	166,130	22,803
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△10,951	2,624
その他の包括利益合計	△10,951	2,624
包括利益	155,179	25,428
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	155,179	25,428

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	30,000	152,300	658,080	840,380	25,124	25,124	865,504
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純利益			166,130	166,130			166,130
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					△10,951	△10,951	△10,951
当期変動額合計	—	—	166,130	166,130	△10,951	△10,951	155,179
当期末残高	30,000	152,300	824,210	1,006,510	14,173	14,173	1,020,683

当連結会計年度(自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	30,000	152,300	824,210	1,006,510	14,173	14,173	1,020,683
当期変動額							
新株の発行	106,720	106,720		213,440			213,440
新株の発行(新株予約権の行使)	5,040	5,040		10,080			10,080
減資	△86,720	86,720		—			—
親会社株主に帰属する当期純利益			22,803	22,803			22,803
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					2,624	2,624	2,624
当期変動額合計	25,040	198,480	22,803	246,323	2,624	2,624	248,948
当期末残高	55,040	350,780	847,014	1,252,834	16,797	16,797	1,269,632

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	234,235	62,339
減価償却費	81,891	88,749
減損損失	—	13,245
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,823	10,031
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	6,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,098	1,889
支払利息	7,374	11,466
持分法による投資損益(△は益)	30,842	22,099
売上債権の増減額(△は増加)	△20,663	△31,393
棚卸資産の増減額(△は増加)	4,570	△94,393
仕入債務の増減額(△は減少)	29	△1,351
契約負債の増減額(△は減少)	95,467	△13,694
その他	△13,318	△1,496
小計	442,350	73,491
利息及び配当金の受取額	211	1,646
利息の支払額	△6,855	△11,550
法人税等の支払額	△84,313	△107,642
営業活動によるキャッシュ・フロー	351,392	△44,055
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△53,972	△92,340
有形固定資産の売却による収入	49	680
無形固定資産の取得による支出	△22,598	△41,875
その他	3,043	△6,388
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,477	△139,924
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△360,000	—
長期借入れによる収入	700,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△568,866	△324,525
株式の発行による収入	—	213,440
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	10,080
その他	△7,674	△7,011
財務活動によるキャッシュ・フロー	△236,540	191,983
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,332	△2,295
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	37,042	5,707
現金及び現金同等物の期首残高	978,538	1,015,581
現金及び現金同等物の期末残高	1,015,581	1,021,288

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、製造小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり純資産額	1,082.15円	1,203.21円
1株当たり当期純利益	176.13円	21.87円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	21.13円

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため期中平均株価を把握できませんので記載しておりません。
2. 当社は、2024年6月14日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算出しております。
3. 当社株式は2024年10月8日付で名古屋証券取引所ネクスト市場に上場したため、当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から当連結会計年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
4. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	166,130	22,803
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	166,130	22,803
普通株式の期中平均株式数(株)	943,200	1,042,772
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	－	36,623
(うち新株予約権(株))	－	(36,623)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第4回新株予約権 新株予約権の数 180個 (普通株式 36,000株)  第5回新株予約権 新株予約権の数 255個 (普通株式 51,000株)  第6回新株予約権 新株予約権の数 40個 (普通株式 8,000株)	－

(重要な後発事象)

該当事項はありません。